

1. 吹田市の現状
2. 教育支援教室について
3. 対象の拡張
4. 空間の充実
5. 柔軟なカリキュラム
6. Vision&Concept&Contents
7. 豊かな体験学習・多様な人材確保
8. アドバイザー
9. 今後のスケジュールについて

- 人口 約38万人
- 公立学校数 小学校36校 中学校18校
- 児童・生徒数 約3万人

■教育理念

いのち
生命かがやき

今 吹田から

あす
未来の力を

あす
未来を拓く吹田の教育

ともにつながり

2. 教育支援教室について

～令和6年3月
(2024年)

令和6年4月～
(2024年)

南千里・吹田市総合防災センター (DRC Suita)

光の森
(北千里)



学びの森
(南千里)



画像は以下より引用
<https://www.city.suita.osaka.jp/kosodate/1018299/1018324/1019265/1018326/index.html>

ICT
拡張
選択

8階～10階 教育センター

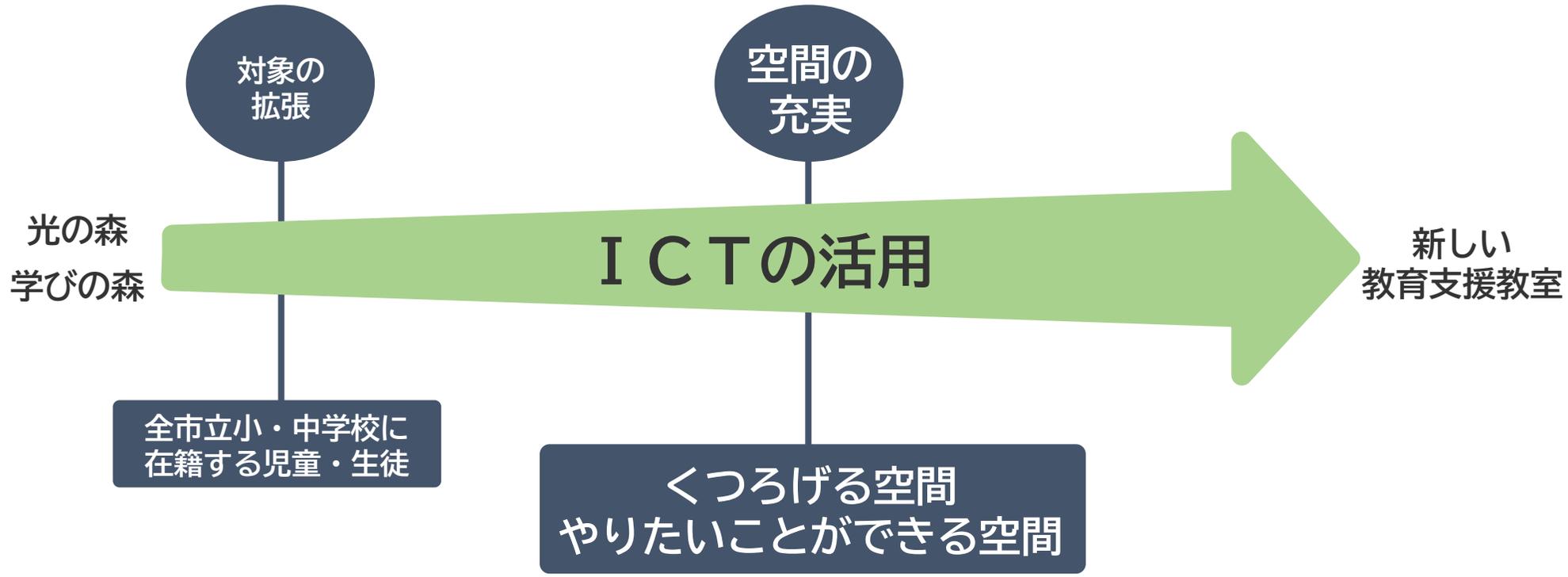
8階 「新しい教育支援教室」

6階～7階 土木部

1階～5階 消 防

本日は、この「新しい教育支援教室」について説明いたします。

4. 空間の充実



<現状> 通常学級在籍のみを対象
<今後> 市立小・中学校に在籍するすべての児童・生徒を対象

「こどもの居場所づくりに関する調査研究 報告書」
(令和5年3月 こども家庭庁) を参照

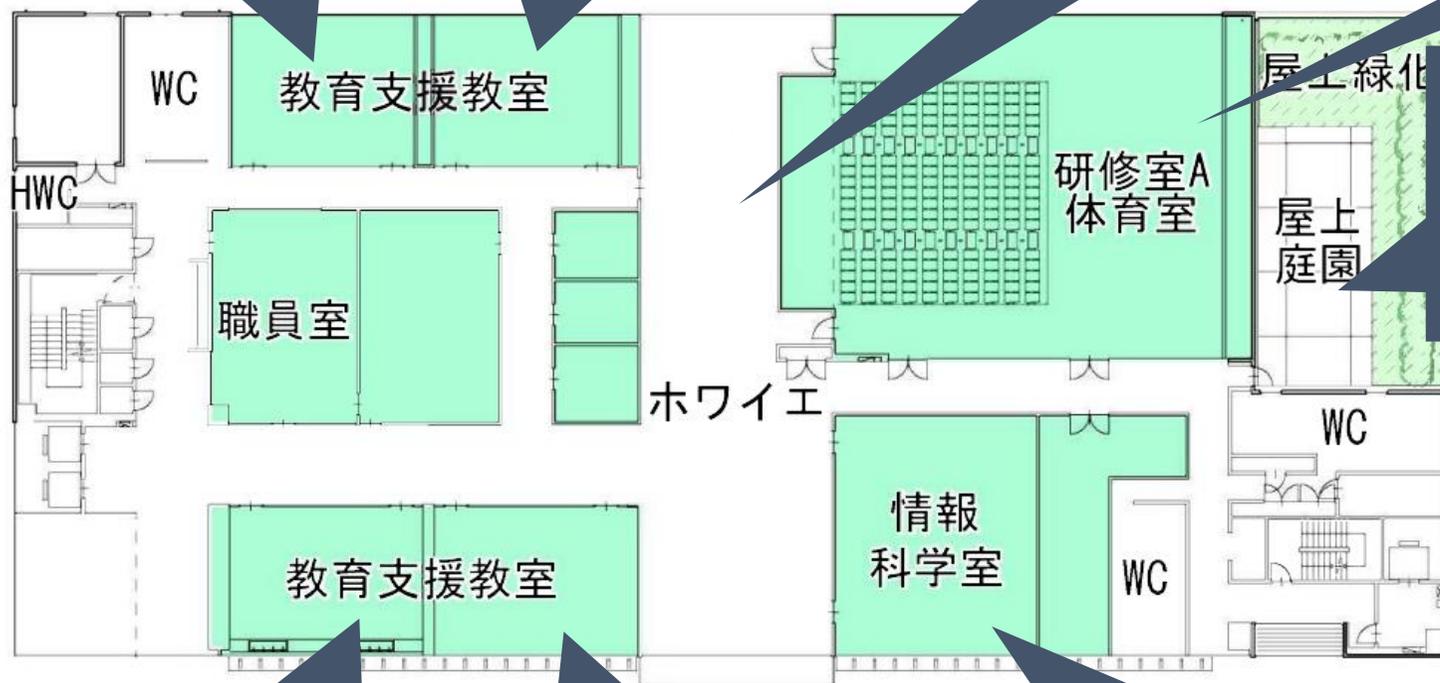
4. 空間の充実

教育支援教室1
仕切りで静かに
集中することが可能

教育支援教室2
状況に応じて
多様な学び方が可能

ホワイエ
目的に応じて
活動や休憩が可能

体育室
軽い運動を行う
ことが可能



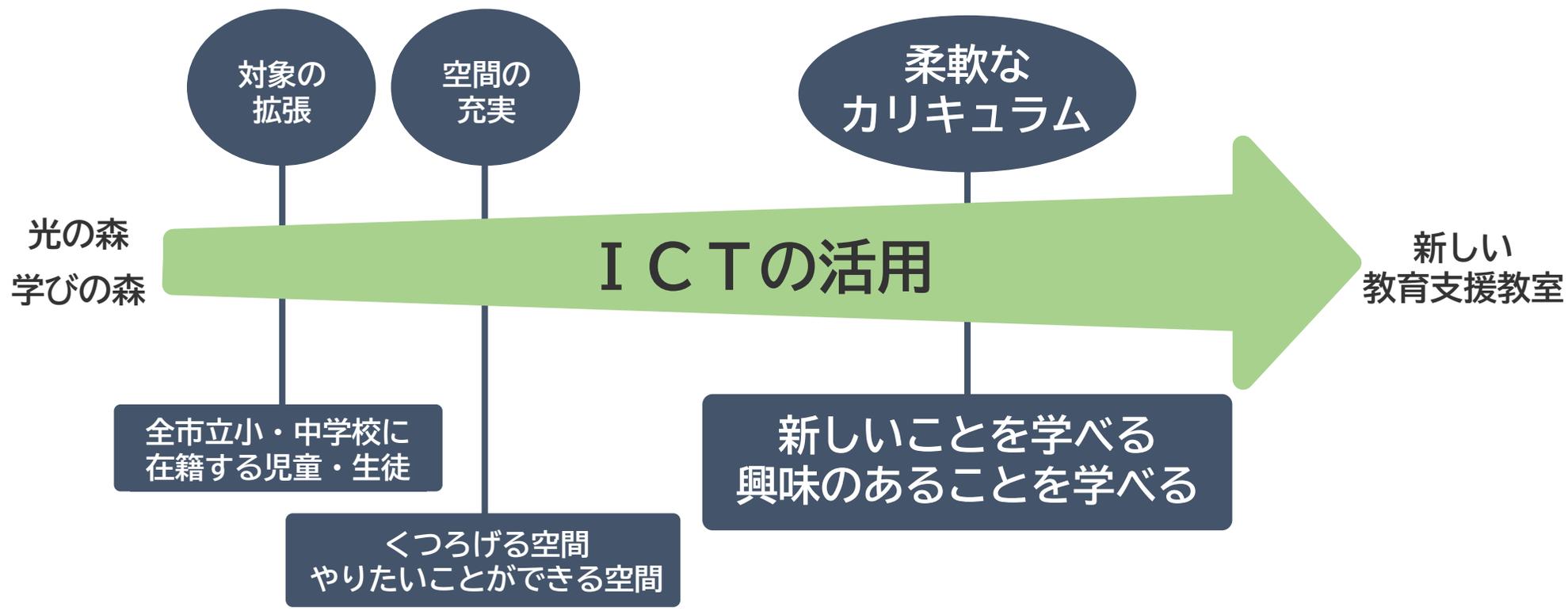
屋上庭園
利用可能
外の空気を感ずる
ことができる

教育支援教室3
調理実習や
理科の実験が可能

教育支援教室4
造形等の
創作活動が可能

情報科学室
プログラミング等の
ICTを活用した表現が可能

5. 柔軟なカリキュラム



<現状> 通常学級在籍のみを対象
<今後> 市立小・中学校に在籍するすべての児童・生徒を対象

「こどもの居場所づくりに関する調査研究 報告書」
(令和5年3月 こども家庭庁) を参照

5. 柔軟なカリキュラム

<ある1か月の登室児童・生徒の例>

	1週目					2週目					3週目					4週目				
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
Aさん			★				○												★	
Bさん	★								○				★							○
Cさん		○			★				○		○			★						○
Dさん		学	○		○			○		○	★		○		○	学		○		○
Eさん	○	○	○	○	学	○	○	○	○	学	○	○	○	○	学	○	○	○	○	○

○：1日登室 ★：オンライン参加 学：学校への登校

※登室にも様々な選択肢を設けています。

- ・ 1日登室
- ・ 半日（午前のみ、午後のみ）登室
- ・ 時間を決めて登室

- ・ 体験活動への参加
- ・ メタバースでのイベントへの参加

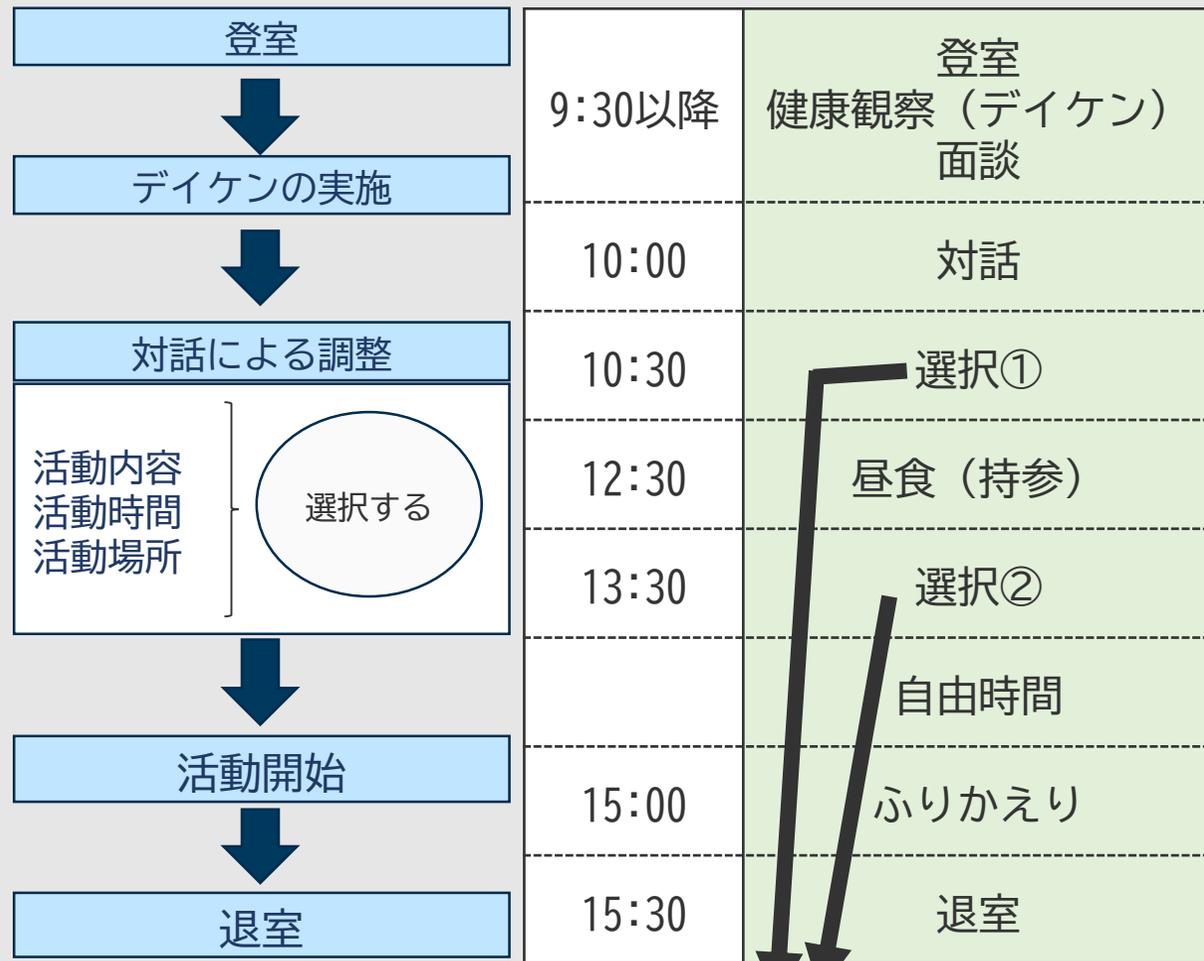
➡ 子供たちが自分の状況に応じて選択できるようにしています。

5. 柔軟なカリキュラム

現行教育支援教室

9:30	登室 健康観察 面談
10:00	朝の会
	学習（個別・集団）
12:30	昼食
13:00	自主活動・体験活動
14:20	終わりの会
14:30	退室

新しい教育支援教室



選択肢（例）

- ・ 学習（個別、小集団）
- ・ 体験活動
- ・ 個別相談
- ・ 軽運動
- ・ プログラミング
- ・ 余暇
- ・ 読書

5. 教育支援教室での過ごし方 月予定・週予定

月予定表 (例)

	月	火	水	木	金
午前					1 学習 木工教室
午後					学習 卓球
午前	4 学習 料理教室	5 学習 グループ	6 学習 学習	7 学習 グループ	8 学習 料理教室
午後	学習 サークル活動	学習 ボードゲーム		学習 バドミントン	学習 サークル活動
	1 1	1 2	1 3	1 4	1 5

◆子供たちが見通しを持って選択できるように「月予定表」や「週予定表」を作成する予定にしています。

◆学習についてはいくつかのテーマの中から興味のある内容について学びを進める日もあります。
(例) 「歴史」「理科の実験」等

週予定表 (例)

	月	火	水	木	金
	4	5	6	7	8
10:00	対話	対話	対話	対話	対話
10:30	学習 料理教室	学習 グループ交流	学習 学習	学習 グループ交流	学習 料理教室
12:30	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食
13:30	学習 サークル活動	学習 ボードゲーム		学習 バドミントン	学習 サークル活動
15:00	ふりかえり	ふりかえり		ふりかえり	ふりかえり

Vision

多様性が感じられる空間

Concept

誰一人
取り残されない

孤立・孤独を
感じない

自分らしさを
発揮できる

一人ひとりの児童・生徒は可能性を秘めている

Contents

支援の
3本柱



土台と
なる教育



相談体制
の充実

- つながり支援
- こころ支援
- まなび支援

- 多様性・対話
- いじめ予防授業 (TRIPLE-CHANGE)
- デジタル・シティズンシップ教育

- 多様性・対話
- 保護者セミナー
- 面談

支援の3本柱	つながり支援	こころ支援	まなび支援
--------	--------	-------	-------

つながり支援

- ① オフライン
- ② オンライン



こころ支援

- ① デイケンの活用
- ② アセスメントシステムの構築

まなび支援

- ① 基礎学力
- ② 課題解決学習
- ③ 体験学習

これまでの取組を土台とし、より充実した取組を目指していきます。

<今後>オフライン+オンライン

<現行>オフラインのみ

教育支援教室内でのイベントの実施
日々の活動の中で関わる機会を提供
⇒同じ空間を共有できる体験を設定

これまで実施してきたイベント

- ・ 飯盒炊さん
- ・ スポーツ大会
- ・ 流しそうめん
- ・ 遠足
- ・ 調理実習
- ・ 作品展
- ・ 公園での活動
- ・ 合同行事
- ・ クリスマス会
- ・ 餅つき大会
- ・ かるた大会
- ・ 出発を祝う会

メタバースを活用したイベントを実施
体験活動への参加を促進
⇒教育支援教室への参加意欲の向上

<メタバースの例>



2023年6月1日配信
日本財団ジャーナル
<https://www.nippon-foundation.or.jp/journal/2023/89389/education>

想定しているメタバースの活用方法

○時間の帯を設定する

○メタバース空間を活用する目的

- ・ バーチャル空間における居場所
- ・ 人とのつながり

○メタバース空間で何をするのか

<子供対象>

- ・ イベント
- ・ 自習室、図書室等のつながりが生まれるための空間

<保護者対象>

- ・ 保護者対象セミナー

① デイケンの活用



「こころとからだの連絡帳デイケン」を活用し、一人ひとりの児童・生徒の心身の健康状態の把握

- 健康観察（学校保健安全法 第九条）
小学校：口頭でのやりとり
中学校：目視

- 相談ニーズの把握

一人1台端末を活用

こころとからだの連絡帳 デイケン



- 体調に関する質問
- 生活に関する質問
- 気分に関する質問

データからリスクや問題の予兆を読み取る

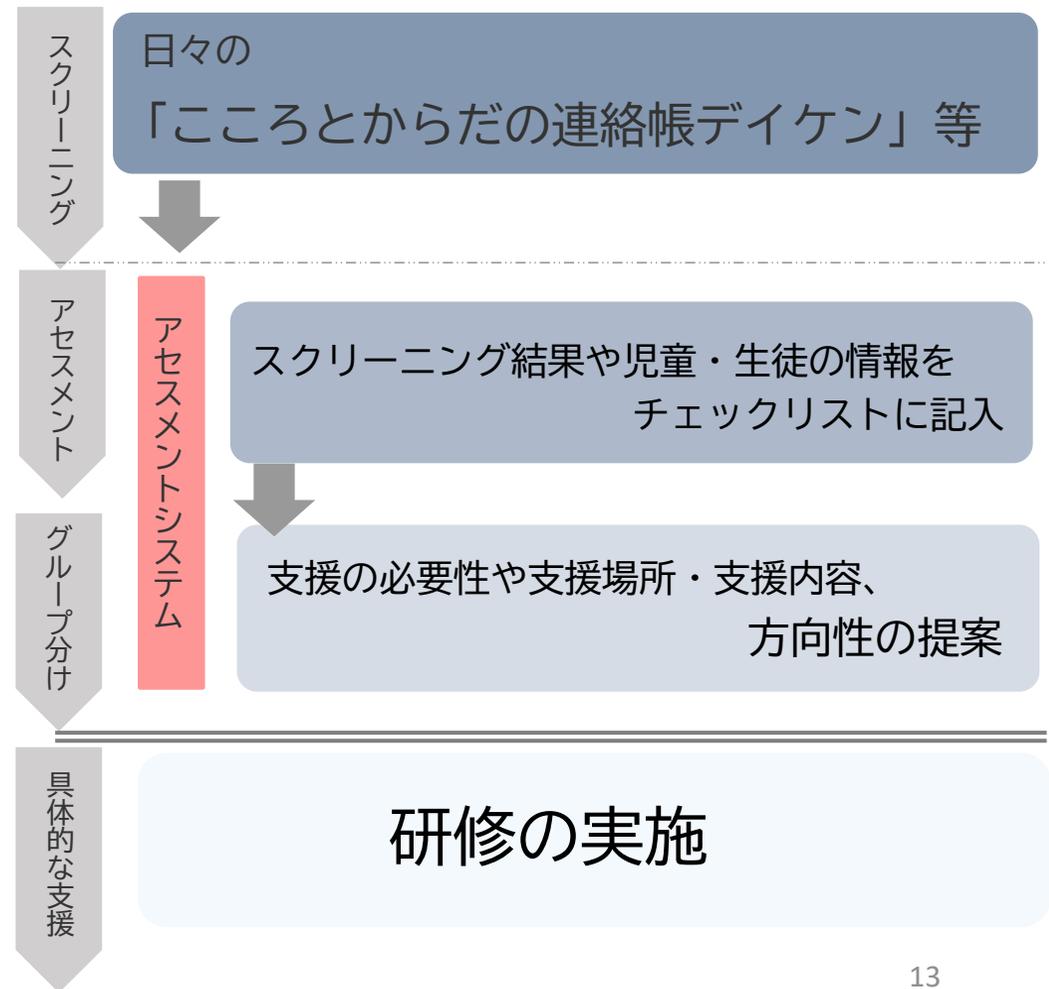
- ・校内での支援体制の構築
- ・担任等、教師による介入

相談ニーズの発信

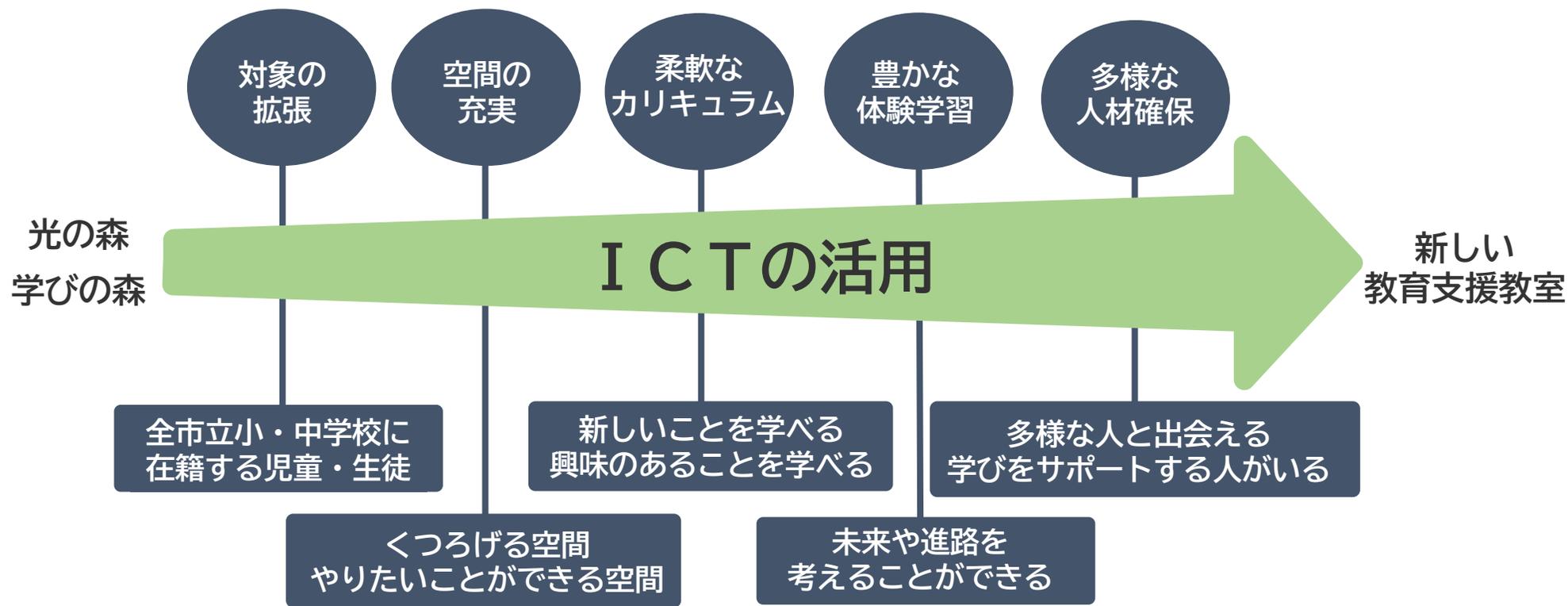
SOSの発信

② こころ支援の実施

デイケンの結果を軸としたアセスメントシステムを構築し、児童・生徒の状況に応じたメンタルヘルスへの支援を実施



7. 豊かな体験学習・多様な人材確保



<現状> 通常学級在籍のみを対象

<今後> 市立小・中学校に在籍するすべての児童・生徒を対象

「こどもの居場所づくりに関する調査研究 報告書」
(令和5年3月 こども家庭庁) を参照

7. 多様な人材確保

- ◆教員免許を取得している人
- ◆心理士資格(公認心理師・臨床心理士)を取得している人
- ◆ボランティア

8. アドバイザーについて

所属	氏名
東京大学大学院教育学研究科 附属バリアフリー教育開発研究センター	飯野 由里子 氏 平林 ルミ 氏
NPO法人カタリバ	池田 隆史 氏
(株)Doit	土井 敏裕 氏
関西国際大学	鳥居 深雪 氏
公益社団法人子どもの発達科学研究所	和久田 学 氏

9. 説明会のスケジュールについて

「新しい教育支援教室」に関する説明会

令和5年(2023年)9月22日(金) 現行教育支援教室 在室保護者向け説明会

令和5年(2023年)11月20日(月) 保護者・市民向け説明会



令和6年(2024年)3月27日(水) 教育支援教室入室希望者向け説明会(予定)

「新しい教育支援教室」からの入室を検討している方へ

教育支援教室への入室については学校からの申し込みとなります。

<今後の予定>

- ・ 人員体制や取組内容の詳細が決定するのは年度末になります。
- ・ 学校には年度末までに決定した内容について情報提供を行う予定です。

「新しい教育支援教室」への入室を検討されている方

⇒年度末に、次年度について検討する際に学校と相談してください。

